
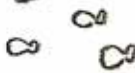


奈良県   
人権メッセージ  
作品集 

Vol. 4



## はじめに



この作品集は、応募いただいた中から選ばれた入賞作品 30 点をまとめたものです。また、作品は募集の趣旨に基づいて、なるべく原文のまま掲載しています。

県では、「人権」を自分のこととして考えていただくきっかけのひとつとして、「わたしの大切な○○」をテーマに人権メッセージを募集しました。

多くのみなさまから、それぞれの心に秘めている大切な想いをメッセージにしてお寄せいただきました。限られた文字の中に、さまざまな想いや生き方が凝縮されています。周囲の人との関わりがあってこそ、それぞれの「大切な○○」が確かに存在していると感じます。

お互いの存在を大切に思い、お互いの違いをありのままに受け入れることが、生きる喜びや幸せを共感できる豊かな社会につながるということを、メッセージを通じて実感していただくと幸いです。

この作品集を手にとってくださったあなたに、たくさんの大切な想いがとどきますよう…

平成27（2015）年2月

奈良県くらし創造部人権施策課



- 大 賞      藪内 心優さん
- 優秀賞    栗田 夏穂さん 西岡 和音さん
- 佳 作    浅間 凜さん 岡田 樹実さん 岡戸 來麗愛さん  
南部 乃綾さん 大和さん (ペンネーム)                      (順不同)

小学生の部  
大賞

## わたしの大切な 心

自分の心がきずついてしまった。

でも、それは自分のせいだった。うそをついてしまったからだ。

それでも、心がスッキリした。なぜなら友達にあやまったからだ。

これからも、わたしの正直な心を大切にしたい。



小学生の部  
優秀賞

## わたしの大切な 笑顔

私はみんなの笑顔が大好きです。  
どんなに苦しくてもみんなが笑顔だったらがんばらなくちゃと思います。  
勇気や元気をもらいます。みんなの笑顔は私の笑顔の源です。  
みんなが笑顔だと私も幸せです。

## わたしの大切な ひと

ぼくをささえてくれるひとは、おかあさんです。  
こまっているときぎゅっとしてくれます。  
そのときぼくは、きもちいいきぶんになります。  
おかあさんにぎゅっとされたら  
あったかいきぶんになります。  
おかあさんにかんしゃしています。





## わたしの大切な 弟

弟は、聞こえない音がある。

ぼくが弟の耳のかわりをしておしえたり、つたえたりする時がある。

ほちょうきをつけることになりました。

聞こえてない音が聞こえてほしいです。

ぼくは弟が大好きです。

## わたしの大切な 命

わたしの命は、

ママ・パパが産んでくれて

育ててくれたから、

大切な命です。

ママ・パパが年をとったら、

今度はわたしがママ・パパを守ってあげたいです。

ママ・パパ産んでくれてありがとう。

## わたしの大切な お母さん

私のこと産んでくれてありがとう。

たった一つしかない、この命をととても大切にします。

本当にありがとう。

これからは、

いろいろなことに挑戦できる子どもになりたい。

そして、優しく困っている人を助けられる

おとなになりたい。

## わたしの大切な 最初のプレゼント

私の最初のプレゼントはみんなとっしょで、名前です。  
凜と言う名前にはりりしいと言う意味があります。  
おとうさんが凜と言う名前しか思いうかばなかったと  
言っていました。  
なやんでつけてくれた名前を大切にします。

## わたしの大切な 友だち

わたしには、うまく言えないことばがある。  
だけど、クラスの友だちは、こんなわたしをばかにしたりしない。  
人それぞれちがうところがあっても、心はつながっているとしんじているよ。  
わたしは、1人ぼっちじゃない。





大賞 山田 寛生さん  
優秀賞 石橋 沙莉さん 野村 寿々香さん ハルヒさん (ペンネーム)  
佳作 川久保 初音さん 松好 倭さん 美登路 和真さん  
宮浦 りんさん 宗川 壮一郎さん (順不同)





## わたしの大切な 弟

弟へ。

お前は障害を持っていて、喋ることができないし、  
意思疎通ができないけれど、俺の大切な家族です。

将来、医者になってお前の病気を治すから、

それまで待ってよ。

これからも、よろしく！



中学生の  
優秀賞部

## わたしの大切な言葉

大切な言葉、それは、ありがとうございます。  
何があっても、ありがとうと言われると心があたたまります。  
たった、5文字の言葉で、何で、こんな気持ちになるんだろう。  
とても、不思議だ。

## わたしの大切な大切な大好きな友達

私が五年生の時クラスから浮いてました。  
六年生になるまでずっと。  
でも、友達が変わってくれました。  
その友達とは今も仲がいいです。  
そのことを思い出すといつも気持ちがほんわかします。  
ありがとう。  
大切な大好きな友達



## わたしの大切な 友達

いつも一緒にいてくれてありがとう。  
たくさんの笑顔进行ありがとう。  
どんなにつらいことがあっても、  
みんなといると不思議と笑顔になる。  
みんなに笑顔の魔法をかけられているんだ。  
普段は言えないけどありがとう。





## わたしの大切な 日常

ぼくが一番大切だと思っていることは日々の日常です。  
毎日学校に行けること、朝起きたらご飯があること、  
そんな当たり前のような日常をいつも大切にしていきたいと思います。

## わたしの大切な 同級生

僕の学校は村にあるので生徒の人数がすごく少ないです。  
なので小学校、長い子は保育園からずっといっしょです。  
高校に行ったらはなればなれになってしまうので、  
最高の思い出をみんなで作って高校に行きたいです。



## わたしの大切な お母さん

私は家族の中で母と過ごす時間が多いです。  
そのため、母には自分をさらけ出せるということもあってか  
傷つけてしまうようなことをいってしまいます。  
私は母に、「いつもごめんね、ありがとう」と伝えたいです。

## わたしの大切な 笑顔

私は、笑顔で話すことを大切にしています。

ごくふつうな事ですが、私は一番大切にしています。

友達と話すときに、笑顔で受け答えすると友達も笑ってくれるし、

普段話さない人とでも笑顔で話せば場も和むからです。

## わたしの大切な おばあちゃんへ

おばあちゃんの食べっぷりは、最高にすごい。

小さな体で、めっちゃ焼肉たべて、笑顔いっぱい。

そんなおばあちゃんのことを、天国のおじいちゃんも喜んでいると思う。

大人になっても会いに行くから元気でいてよ。





大賞 杉山 裕美さん

優秀賞 戎野 真代さん 椿井 栄美さん 森上 結以さん

佳作 下浦 星輝さん 林 良太さん 森田 千尋さん

N. Iさん (ペンネーム) S. Mさん (ペンネーム) (順不同)

高校生の部  
大賞

わたしの大切な わたし

ずっと下を向いて歩いてきた。  
背中をまるめて目を伏せる、そんな自分が嫌いだった。  
高校に入って、ちゃんと目を見ろと怒られた。  
初めてだった。  
自信を持っていいと、言われた気がした。  
まずは自分を、愛してみよう。



## 高校生の 優秀賞部

### わたしの大切な 手紙

私が産まれて19年。

親元を離れて寮生活をしている私。

生まれて初めてもらった母からの手紙。たった5行の短い手紙だった。

しかし胸の奥からこみ上げてくるこの気持ち。

嬉しさと感激のあまり、涙がとまらない……。

### わたしの大切な 先生。

私が1番大嫌いで1番大好きな先生。

いっぱい怒られもしたけれど、

1番自分のことを理解してくれた先生。

最近その先生に怒られていた事も良く思う。

それだけ自分のことを見ていてくれていたことに気づいた。





## わたしの大切な 存在

私の家は母子家庭です。

母がけがをして入院したとき、自分の情けなさに気づき、  
母の存在の大きさを思い知らされました。

人は誰かの支えがあるから生きていけるのだと、  
あたり前な毎日が幸せなんだと知りました。





## わたしの大切な 家族

私は今、地元とは離れた高校に行っているので寮生活をしています。家族と離れていると親の安心感、兄の優しさや妹の可愛らしさ、家族のありがたさを感じました。こんなに早く家族の大切さに気付けてよかったです。

## わたしの大切な おばあちゃん

私の祖母は3年前の紀伊半島豪雨によって避難を余儀無くされた。幸いにも祖母の住む地区で犠牲者は出なかったものの、祖母の家は浸水した。私はこの経験により改めて祖母と命の大切さを実感した。

## わたしの大切な 3つの心

「はい」と言える素直な心、  
「ありがとうございました」と言える感謝の心、  
「すみませんでした」と言える反省の心、  
大切なのは相手の気持ちを  
わかることのできる優しい心

## わたしの大切な お母さん

私のお母さんは、去年病気が悪化して生死をさまよいました。  
無事意識は戻りましたが数か月入院することになり  
家の事は私が代わりにすることになり  
最初は軽い気持ちでしたけど  
日に日に大変さを知りました。  
ごめん。



## わたしの大切な あいさつ

「おはよう」の挨拶を交わすだけで、友達との距離が近くなる。  
お互いにいい気分になるし、朝から元気をもらえる。  
私も毎朝、「おはよう」を大切にしている。この一言で空気が変わる。  
魔法の言葉だ。



大賞	みにいちゃんさん (ペンネーム)		
優秀賞	北川 麻致子さん		
佳作	多田 智代さん 東阪 みちさん	(順不同)	



## わたしの大切な 娘へ

小学生の頃、いじめられていたことを私にも打ち明けなかったね。  
本当に辛いことって親にも言えないものですね。  
でも、あなたは人の憂いを思いやれる優しい娘に育ってくれた。  
お母さんはそれが何よりうれしいのです。



一般の部  
優秀賞

わたしの大切な こどもたちへ

この世界に、生まれでたこどもたちすべてが、  
美しく輝き、強く、生きてゆけますように……。

こどもたちを見守り、そっと手助けできる、おとなでありたいと、思っています。



## わたしの大切な つながり 「柿の葉寿司」



新緑と鯖、寿司飯が合わさった、  
この時期ならではの香りが部屋いっぱいに漂う。  
ああ、また柿の葉寿司の季節だよ、おばあちゃん。  
母が受け継ぎ、今私が修行中。子ども達が「おかわり！」。  
貴方の命は継いでいるよ。

## わたしの大切な 家族

自然の中で、障害を持つ私と犬の太郎と  
ぬいぐるみの兎のピョン子が、私の大切な家族。  
辛い事も、悲しい事もいっぱいあるけれど  
三人を見守っていてくれる親戚や友人達に恵まれて  
『ありがとう』の気持ちを忘れずにと。





奈良県くらし創造部人権施策課

〒 630-8501 奈良市登大路町 30 番地

Tel 0742-27-8719 Fax 0742-27-8721

平成 27(2015)年 2 月発行

イラスト おがわまな

※無断複製・無断転載禁止